

発足式・茶摘み（５月６日）の活動報告

５月６日（月祝）発足式・茶摘みを行いました。

参加者はこども１５人、保護者４人、サポーター６人、事務局３人の合計２８人でした。

くもり空の下暑くも雨もなく、小１時間みんなしっかりお茶摘みをする事ができました。

発足式では、市長さんをお迎えして、昨年の参加者の頑張りを表彰して新しい年度のスタートを切りました。

午後からは摘んだ茶葉で緑茶づくり。まずは電子レンジで殺青。これが最初レンジが強くなりすぎて葉が乾燥してしまいましたがすぐ修正。その後はホットプレートで温めながら、葉の中の水分をもんで出していく揉捻作業。焦げないように注意しながら根気よく１時間余り揉み込みました。まだ少し水分も残っているものもありましたが、たっぷりの茶葉を急須に入れて、お茶を抽出しました。部屋いっぱいに広がる茶の香りとともに、甘みのあるお茶の味を味わうことができました。なかなかの出来だったと思います。

また、今年も綿の種を持って帰ってもらいました。６月に鹿背山の綿畑に植えつけるまでそれぞれのおうちで苗を育てて下さいね。



川の水質・水生昆虫調査（6月2日）活動報告

6月2日（日）、鹿背山にて水生昆虫調査と全国一斉川の水質調査を行いました。
参加者はこども19人、保護者9人、サポーター4人、事務局3人、鹿背山倶楽部さん3人、生物多様性センターさん2人、中嶋先生の合計41人でした。
時折雨がきつく降る中ではありましたが、止み間をぬって活動しました。

今年はビオトープ池を管理してくれている鹿背山倶楽部さんが、アメリカザリガニの捕獲活動をされており、そのことを始めビオトープ池の生き物のお話をして下さいました。その後はザリガニの捕獲かごの中や池の中の生き物を観察。ザリガニの捕獲効果かイトトンボのヤゴが例年よりとても多く見付き、ドジョウやカワムツも捕まえることができました。

川の水質調査は、雨で濁流化しており、泥の濁りが入り正確な値を得ることができませんでしたが、パックテストのやり方を学ぶ機会にはなりました。影響のない値は次年度晴れてくれることに期待しましょう。

午後からは川の生き物調査、大きなサワガニは雨の影響を避け陸に上がったのか少なく、いつも見られるヒラタカゲロウは流されたか姿が見えませんでした。その他の生き物は大体例年通り見付きました。

市役所に帰ってからの地図作り。今年はそれぞれが記憶に残った生き物を絵やリストにして1枚の紙にまとめました。ザリガニやサワガニ、ヨコエビなどの絵が多く集まりました。



綿の植え付け（6月23日）活動報告

6月23日（日）、鹿背山の南谷駐車場脇で、綿の畑への定植を行いました。
参加者はこども13人、保護者9人、サポーター3人、事務局1人の合計26人でした。

小雨模様のため、植え付けだけの簡単作業のみとしました。

5月6日の発足式に渡した種を多くの参加者が苗にして持って来てくれました。今年は変な天候が続き育てるのが難しかったと思いますが、ちゃんと本葉が出ていて大切に育ててくれたことがよくわかりました。畑の畝に自分が育てた苗を植え、周りの土をしっかりと押さえて馴染ませて作業は終わり。開花や結実時期を描いた小さなパンフレットを渡して、収穫までに花や実の生長を各自見に来てほしいと伝えました。これから降り続く雨は根の定着までの水やりの心配をなくしてくれそうでありがたいです。大きく育ててほしいものです。



夏の里山活動体験（7月21日）活動報告

7月21日（日）、夏の里山活動で昆虫観察を行いました。

参加者は、こども12人、保護者7人、サポーター3人、事務局3人、中嶋先生、南谷管理組合の大角さんの合計27人でした。

場所は鹿背山南谷ベースキャンプ周辺の畑や道沿いのクヌギの木のそばで採集をしました。

トンボはたくさん飛んでいて、シオカラトンボやオオシオカラトンボ、タイリクアカネなどが見つかりました。チョウはミスジチョウやシジミチョウ、ジャノメチョウが見られたものの捕まえられず、詳しい種類はわかりませんでした。ただベースキャンプ到着直後、モンキアゲハの姿は確認できました。甲虫は、ノコギリクワガタ、コガネムシの仲間、ナナホシテントウムシなど。他にはキリギリス、ツクムシの仲間、カマキリの幼生が捕まえられました。昆虫以外では、カナヘビにツチガエル、カタツムリなどを見つけることができました。

また、セミの抜け殻調査ではアブラゼミ（オス）15匹とニイニイゼミ1匹を見つけました。連日の猛暑で生き物たちの姿は全体に少なめでした。でも、こどもたちは元気。少し休むと木のブランコに乗ったり、草刈りの手伝いをしてくれたり、また虫を追いかけていたりしていました。



染色教室（8月4日）活動報告

8月4日（日）木津保健センターで玉ねぎの皮を使った染色教室を行いました。
参加者はこども8人、保護者5人、サポーター4人、事務局2人の合計19人でした。

講師のサポーター田中さんの指導のもと、野外での活動に使えるよう手ぬぐいを染めました。どんな模様になるか想像しながら、割り箸や、ボタン、洗濯バサミなどを使って手ぬぐいに模様を作りました。染め上がった手ぬぐいから、割り箸、ボタン、洗濯バサミなどを外して模様が現れると、びっくり！想像以上の出来だったり、想像通りの仕上がりのようなでした。最後にきれいに洗って、みんなで記念写真を撮りました。初めてのこどもも無事染め上がりが素敵な作品ができました。

手ぬぐいの染液と媒染液につけている時間に、サポーター小澤さんの指導のもと、ふろしきの活用体験をしました。基本の結び方を教えてもらい、ふろしきのバッグをつくったり、バンダナを使って帽子などをつくりました。こどもたちはすぐに覚えて可愛らしく帽子をかぶって見せてくれました。



体験！木津川ジュニアレンジャー～木津川を知ろう！～

（9月8日）活動報告

9月8日（日）木津川橋下にて「体験！木津川ジュニアレンジャー木津川を知ろう！」を行いました。参加者はこども4人と講師の淀川管内河川レンジャー長浜さん、中野さん、奥平さん、河川レンジャー事務局の竜門さん、エコクラブサポーター3人、事務局3人の合計14人でした。

午前中は木津川の大きさや特徴について学び、大人も思わず「へえ～」と感心することを色々教えてもらいました。また、お互いの自己紹介を兼ねたアイスブレイキングゲームもとても楽しく盛り上がりました。木津川の川幅は、実際に橋を歩いて歩数と歩幅から計算しました。みんな当たらずとも遠からず、いい線をいっていたようです。

午後からはいよいよ川に入っの体験。しっかりとライフジャケットを着て川の中へ。とても暑かったので川の水が心地良かったです。まずは生き物観察をしました。バスなどの稚魚やヌマエビ、ヒラタドロムシ、ヤゴなど、水生生物を見つけました。いつもの中切川とは生き物はすいぶんと違っていました。また、溺れず上手に流れに乗る川流れの練習も行いました。足を川下に仰向けになり、流れに乗って下っていくのはとても気持ちよさそうで、こどもたちは何回も川流れを楽しんでいました。最後に、川の水をバケツに汲んでCODとpHのパックテストを行いました。とても充実した川ざんまいの体験でした。



秋の里山活動体験（11月24日）活動報告

11月24日（日）秋の里山活動を行いました。

参加者は、こども16人、保護者6人、サポーター6人、事務局3人、南谷里山管理組合の大角さん、川本さん、藤井さんの合計34人でした。

今回は野外調理をいろいろと楽しみました。

やきいも班は、さつまいもをキッチンペーパーとアルミはくに包んで、焚き火でじっくり焼いていきました。豚汁班は、野菜を細かく切ってお鍋に入れました。例年にない暑さのせいか、高価な白菜や葉物の代わりに、地元の大根をたっぷりと使用しました。大根の新鮮な葉っぱは、青菜の役割を果たしてくれました。竹筒ご飯班は、まず竹の1節を一部切り取り、「竹筒飯ごう」づくりから行いました。のこぎりとなたを使って、みんな上手に作りました。たき火の火が強かったところは少し焦げついてしまったり、端の方でほんの少し生煮えところもあったけれど、おおむねおいしく炊けました。やきいも、豚汁、竹筒ご飯の3品ともすべて完食できました。調理の合間には、落ち葉掃除も行い、食後は思いっきり基地の中を走り回り秋の里山を楽しみました。小学校の運動会のシーズンが遅くなり、秋の活動を今までよりほぼ1月遅くしたのですが、その差を感じない気温で、温暖化を感じた1日でもありました。





しめ縄リースづくり（12月8日）活動報告

12月8日（日）にイオンモール高の原でのエコフェスきづがわで、しめ縄リースづくりを行いました。

参加者は会員7人、保護者1人、一般の参加者18人、サポーター7人、事務局2人の合計35人となりました。

もち米の長い稲わらをなう縄を作り、輪にして、木の実やリボンなどをつけ、しめ縄リースを仕上げました。わらをなう経験はなかなかできないので、みんな四苦八苦しながらも頑張ってしめ縄を作り上げていました。飾りには、あまった毛糸のボンボンやチラシを丸めて作った紙ビーズなどの廃材、みんなで育てた綿の実などを使いました。クリスマスにもお正月にも飾れる、素敵なリースを作ってくれました。

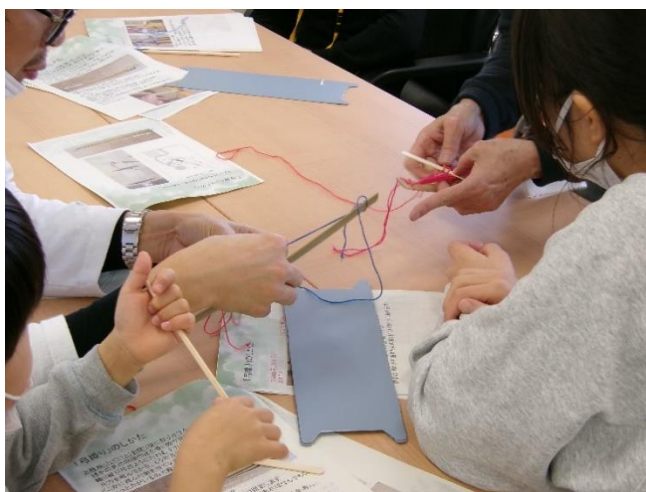
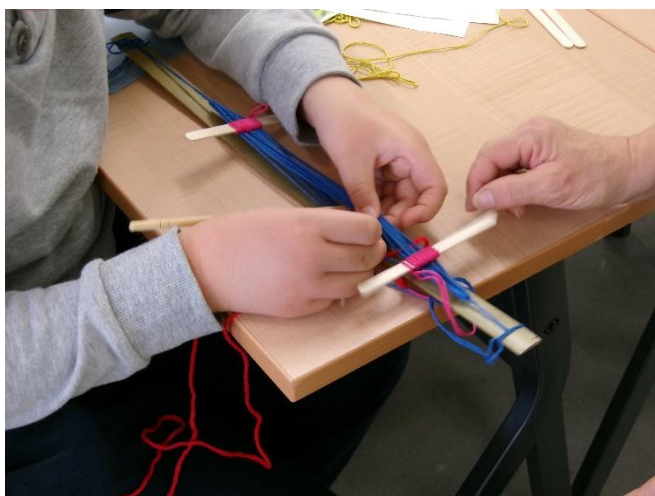
高の原イオンでのエコフェス会場でしめ縄リースづくりを行ったので、あわせて綿づくりやエコクラブの活動の宣伝もしました。



竹の織機を使った綿織工作（1月19日）活動報告

1月19日（日）に今年初めてのエコクラブの活動として、竹の織機を使った綿織工作进行了。参加者はこども6人、保護者3人、サポーター2人、事務局2人の合計13人でした。

木津川市の竹で作ってもらった、機織りの材料を使って簡単な織物を作りました。経糸（たて糸）をかけたり、経糸（たて糸）の間に緯糸（よこ糸）を通したりと慣れない手の使い方に、こどもたちは四苦八苦していました。こどもたちが織るには糸がもっと太い方が良かったかもと、次回の参考にしたいと思いました。「どれだけかかるの」「早く帰りたい」と言っていたこどもたちも、だんだんと慣れてきて、織物の仕組みがわかってくると、少しずつ織り進められるようになってきました。下準備に時間がかかってしまい、最後まで完成できた人はいませんでした。が、「次のイベントまでに完成させたい」と機織り工作に夢中になっているこどももいました。初めての企画で、いくつか反省点もありましたが、参加してくれたこどもたちは一生懸命手を動かしてくれました。



冬の里山活動体験（2月16日）活動報告

2月16日（日）冬の里山活動体験で鹿背山に行きました。

参加者は、こども5人、サポーター4人、事務局3人、南谷里山管理組合の大角さんの合計13人でした。

お昼ごはんは、地元野菜中心のクリームシチューを作りました。JAの直売所（花野果市）で購入した地元野菜は、赤い皮のじゃがいも、里芋、にんじん、白菜。他にも南山城産シイタケや香川県のしめじなどできるだけ近くの野菜を集めました。赤い皮のじゃがいもはせっかくなので皮ごと入れて、里芋は、食パンの袋の留め具をピーラー代わりに使って皮むきをしました。みんなでわきあいあいと調理し、おいしいクリームシチューを作ることができました。

シチューを煮ている間には、いつもの落ち葉かきを行いました。集めた落ち葉の一部は、新しい綿畑へ運びました。雨上がりで3月並みの気温の中、こどもたちは思いっきり走り回って里山を楽しんでいました。大人たちも火の周りを囲んでのんびりした時間を楽しみました。



ふりかえりパーティー（3月20日）活動報告

3月20日（祝・木）にふりかえりパーティーを行いました。

参加者は、こども8人、保護者3人、サポーター5人、事務局3人、講師の居原田さんの合計20人でした。

まずはこの一年の活動で楽しかったこと、来年度にやってみたいことを書き出してもらいました。楽しかったことには、お茶つみや里山での活動、川流れ体験など野外での活動が多く挙げられていました。やってみたいことはキャンプやつり、川の上流や下流を調べてみたい、バードウォッチング、もちつきなどいろいろ挙がりました。なかなか希望に沿うのは難しいかもしれませんが、何か近いことできたらと思います。

次に、カステラの切り落としや旬の地元いちごでミニミニパフェづくりをしました。みんなおいしく完食しました。

その後、講師の居原田さんを招いて、SDGsのカードゲームをしました。家族チーム、こどもチーム、おとなチームに分かれて対戦。大人たちも遠慮なく対決しました。いろいろな危機カードに危うくなったチームも力合わせて何とか最後までやり切ることができました。しっかり話し合って助け合うことがSDGsの基本って感じ取ってもらえたかと思います。

